



## 【腎機能低下時の減量方法】

※S-1

クレアチンクリアランスに応じて、S-1の投与量を変更すること

Ccr60～80mL/min 初回量より必要に応じて1段階減量

Ccr40～59mL/min 原則として1段階減量

Ccr30～39mL/min 2段階減量

Ccr<30 禁忌

血液毒性・非血液毒性発現時の休薬・減量・再開基準を参考にする。

体表面積	1回用量※	1段階減量	2段階減量
～<1.25㎡	40mg/回	30mg/回	25mg/回
1.25㎡≤～<1.5㎡	50mg/回	40mg/回	30mg/回
1.5㎡≤～	60mg/回	50mg/回	40mg/回

参考文献 臨床病期Ⅱ,Ⅲ 肛門管扁平上皮癌に対するS-1+MMCを同時併用する根治的化学療法放射線療法の臨床第Ⅰ,Ⅱ相試験  
JCOG0903試験

Yoshinori Ito et al, International Journal of Clinical Oncology, 28: 1063-1072, 2023

大腸癌治療ガイドライン 2024年パブリックコメントのCQ28の回答